

## 高良玉垂会活動事例報告

大川市老人クラブ連合会

高良会会長 中村 亮

はじめに

私たちの老人クラブがある大川市郷原というところは、60年くらい前は田んぼの中に集落が集まっている小島みたいなところでした。

ところが市役所等の庁舎関係の建物ができ、道路ができて現在では一等地となったようなところです。

その時期には億もの金が動き、右も左もお金持ちであふれて、石を投げれば億万長者に当たるとまで言われるようになりました。

ところが、老いた地主さんたちには、何もいらぬから以前のようなゆっくりとした地域でいたかったと言う人がいっぱいいます。

そのような堅い人々ばかりで、成長しない土地です。

以前の老人会はあまり面白くなかったそうですが、私が3年前に入会してから皆とワイワイ話をするようになったので、すごく変わったと言われます。

クラブの皆さんの話では、「会が楽しくなってきた、開催が待ち遠しい」とまで言われる方が出てきたそうなのですが、入会者が少なく会員獲得に大変苦労しているのが現状です。

大川市の区分けは全体が6校区に分かれ、1つの校区に12町内～14町内と分かれ、その中でまた12区に分かれています。

我々の町内はその一角であり、さらに南・北に分かれています。

公民館は一つで行事も一緒に行いますが、役員は南北別々にいます。しかし、行事の進行は南北同時に一つでやります。非常に難しい土地柄となっております。

現在の大川の人口は約32,500人で、世帯数約13,800

65歳以上人口約12,000人 会員数 約4,100人

郷原世帯数 約200世帯 郷原人口 約250人

会費 前半期 1,500円 後半期 1,000円

会員 約60名と少ない 参加できる人数

事業 ゆうゆう会 月に2回(1年間24回) 役員会 年4回(18名の役員)

参加者 約30人

月間事業 ふれあい訪問委員は、随時4名が見回り訪問

#### 毎月の行事

- |     |                      |                              |
|-----|----------------------|------------------------------|
| 4月  | 総会                   | 高齢者学級 第1回                    |
| 5月  | グラウンド・ゴルフ            | 町内一斉清掃(川等清掃)                 |
| 6月  | 市大会グラウンド・ゴルフ         | 新旧役員旅行                       |
| 7月  | 女性グラウンド・ゴルフ          | ペタンク市予選 校区役員研修会<br>高齢者学級 第2回 |
| 8月  | 講師を呼ぶ (案)<br>ペタンク市大会 | ヤクルト(体調の件)<br>警察(交通安全・詐欺の件)  |
| 10月 | 高齢者学級 第3回            | 健康、体力づくり、認知症について             |
| 11月 | 全員全体親睦旅行(1泊)         |                              |
| 12月 | 大川市文化祭・健康の集い         |                              |
| 1月  | 新年会                  |                              |
| 2月  | 田口全体 高齢者学級 第4回       |                              |
| 3月  | 役員会・総会準備             |                              |

以上を毎月1年間行っています。

私が考えることは、老人会も一緒ですが、民生委員の仕事の大切さ難しさです。核家族化が進んでいる現状の中で地域社会の繋がりが薄くなっている今日において、人々の信頼関係の回復が一番の課題になっています。

老人クラブに入会することで信頼関係を築き、またその関係を深めることが一番の喜びであり大切なことだと思います。しかし、現状は3分の2くらいの市民の人々が入会されず、非常に残念なことと思っています。

私は区長もやっており、「困っているあなたに手を差し伸べたいのです。」と淡々と訴えています。なかなか思うように進まないのが現状です。

全ての市民が、生涯を通じて安心して自分らしく暮らすことのできる地域共存社会の実現に向けて取り組む既存の制度・地域のネットワークを最大限に活用して、皆々様と共に楽しい一生を過ごしていくことが一番の幸せかと思えます。

以上、今後の課題等いっぱいありますが、皆様先輩のご指導を頂戴して活動に活かして参りたいと存じますので、宜しくお願い致します。

## 老人クラブ復活から 6 年

みやま市老連瀬高支部

長命会会長 藤木 正巳

### 1. 全国老人クラブ連合会会長賞への道程

「上庄長命会」は平成 28 年 4 月 28 日に「老人クラブ休止届」を提出していましたが、平成 28 年 6 月 14 日、自治区の区長より老人会立ち上げ依頼の話がありました。

現状を尋ねると老人会の活動は無く、休止の状態でした。現状を把握すべく市役所の高齢者支援係を尋ねました。

復活の条件：新規に立ち上げた場合（補助金支給は検討されるが、実質支給は 2 年目から。発足時の登録が必要）

：継承して引き継ぐ場合（会員登録 30 名以上。当月より支給される）

以上により役員選出と 30 名以上の会員を確保しクラブ成立の条件を満たしましたので、復活届を提出いたしました。

復活日 平成 28 年 7 月 14 日（6 年前が実質のスタート）

行政区 西新町

クラブ名 上庄長命会

会員数 36 名

会長 藤木 正巳

復活への動き

継承扱いで復活手続き実施

平成 28 年 6 月 15 日

市役所の高齢者支援係に行き、制度・現状や手続きを聞く

6 月 16 日

町内有志に立ち上げに協力を要請

6 月 21 日

第 1 回の発足準備委員会の会場を予約（上庄公民館）  
区長さんの参加も要請する

6 月 23 日

上庄公民館館長宅へ出向き老人会の現状を尋ねる

6 月 25 日

女性の有志にも協力を依頼する

令和2年11月18日 全国老人クラブ連合会会長賞受賞

## 2. 全国老人クラブ連合会会長表彰受賞報告会

令和2年6月16日 小山事務局長より、「今回みやま市老ク連に全国老人クラブ連合会会長賞の推薦が来ていますが、上庄長命会を推薦しますので受けて貰えますか」と声を掛けられ関係書類を渡されました。

見多摩市老人クラブ連合会瀬高支部の計らいにより、まだまだ未熟な私達のクラブがこのような会長賞を頂きました事に、驚きを感じています。これら一重に会員の皆様始め、役員の方々の賜物と受け止め感謝申し上げます。

### 設立の経緯

設立は平成28年7月14日で、今年で6周年を迎えています。過去には上庄には4つの老人会があったそうですが、復活した当時は「上庄円熟会」1カ所のみ活動していました。

平成28年6月14日

西新町の区長さんより、老人会立ち上げ依頼の話がありました。

6月15日

市役所高齢支援係へ行き、老人会の制度や現状を尋ねる。今までの上庄長命会はどうなっているのか。(休止届提出を確認)、手続き等は、又、上庄円熟会の会長に資料関係等を尋ねる。

新規に登録は(1年間の事業計画が必要。又、補助金は次年度から)

継承は(今年より補助金は出る。会員数30名以上)を確認。

6月16日

役員の登録が必要とのことで、有志(先輩方)に協力を依頼(区長の6名その他、上庄校区グラウンド・ゴルフの会員様にお願いする)

6月20日

各地域の区長さんへ、班長として会員への登録をお願いする。

6月25日

老人会の会長経験者に当時の成り行き等を尋ね、情報を得る。

6月26日

前会長見舞い（高木病院）、話しを聞いたが老人会活動の形跡が無かった事を確認。帰りに自宅に寄り奥様に話しをして、関係書類等を頂いた。

この日、発足準備委員会を開催。会員数34名（男20名、女14名）

令和2年12月31日現在

会員数47名（男28名、女19名）

平均年齢（男74.7歳、女79.6歳、全体平均76.7歳）

#### 役員構成

会長1 副会長2 会計1 女性役員2 監事2 を置き、定期的に役員会を開催、行事の進捗状況を把握し、役割分担の確認を行う。

財源 運営の基礎となる経費は、会員の会費によって賄うことを基本とする。

補助金等の公費はその趣旨を活かした活動に充当し、公正な執行を行う。

### 3. 現在の活動状況と課題

#### 活動状況

- ・上庄長命会からの働き掛けで出前健康教室、防犯関係教室、男性料理教室、地域の寺巡りなどの行事を次々と立ち上げたほか、社協主催の健康関係講座等にも積極的に参加する等、瀬高支部の中では他の模範となっている。
- ・子供の見守りや清掃、環境美化、高齢者相互支援の充実等へ積極的に参加する等、地域と共に歩む老人クラブとして認知されている。
- ・上庄円熟会老人クラブとの繋がりを大切にして、廃校になった旧上野庄小学校グラウンドで、水、土曜日の2回合同でグラウンド・ゴルフを練習、又、除草も適宜実施している。
- ・練習の成果か瀬高支部グラウンド・ゴルフ大会で毎年のように男女で優勝な

ど、好成績を収めている。体を動かし、会話するグラウンド・ゴルフは、健康維持と会員同士の親睦にも大いに役立っていると思われま

#### 今後の課題

- ・平成28年7月に36名で復活した上庄長命会、最盛期には49名にも達した会員も、新規加入者が減少し今年45名と少しずつ減少しています。65歳を過ぎても仕事を続ける人が多くなって老人会加入者が少なくなり、会員の高齢化が進んでいます。
- ・新型コロナ禍が終息せず、あらゆる行事実施に支障が出ています。コロナ株の変異が終息を遅らせています。
- ・瀬高支部では、次期会長の確保が出来ずに休止届の単位クラブが相次いでいます。新規加入者の減少と、会員の高齢化が原因でしょう。
- ・瀬高支部では、事務局長の引継ぎが出来ず困っています。業務量や責任が集中している事があります。北筑後地区や大木町のように「社会福祉協議会」等の職員が老人会の事務局を受け持たないと、事務局長不在の理由で支部が解散になる心配があります。
- ・瀬高支部では、支部役員の高齢化も進んでいます。支部規約で役員の定年を80歳と決めましたが、2年後には「理事」以上の全員が到達するような状況です。

以上報告いたします。